

第1回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日時	平成 29 年 5 月 19 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分								
場所	市役所 5 階 506 会議室								
出席者	坪島委員長、吉澤副委員長、岩崎委員、彦谷委員								
議題	1. 委嘱状の交付 2. 副市長より挨拶 3. 市民評価委員自己紹介 4. 事前確認及び評価スケジュール説明 5. 委員長、副委員長の選任 6. 評価基準の決定 7. 評価 (1)日野市市民農園 株式会社 日野市企業公社 の報告、質疑、採点 8. 評価 (2)日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター 株式会社 日野市企業公社 の報告、質疑、採点								
	●評価の内容 <table border="0"> <tr> <td>・指定管理者による報告</td><td>10 分</td></tr> <tr> <td>・市民委員からの質疑（回答：指定管理者）</td><td>20 分</td></tr> <tr> <td>・市民委員からの質疑（回答：主管課）</td><td>10 分</td></tr> <tr> <td>・まとめ（採点）</td><td>10 分</td></tr> </table>	・指定管理者による報告	10 分	・市民委員からの質疑（回答：指定管理者）	20 分	・市民委員からの質疑（回答：主管課）	10 分	・まとめ（採点）	10 分
・指定管理者による報告	10 分								
・市民委員からの質疑（回答：指定管理者）	20 分								
・市民委員からの質疑（回答：主管課）	10 分								
・まとめ（採点）	10 分								
議題 1	●委嘱状の交付								
議題 2	●副市長より挨拶								
議題 3	●市民評価委員自己紹介 各委員が自己紹介を行った。 （自己紹介後、副市長退席）								
議題 4	●事前確認 事務局（企画経営課）より、事務的な確認を行った。 ・録音（議事要点録作成のため） ・評価委員（名前のみ公表） ・市ホームページでの議事要点録の掲載								

	・評価で使用了資料の回収 ●評価スケジュール説明 1. 日野市市民農園 株式会社 日野市企業公社 2. 日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター 株式会社 日野市企業公社 3. 日野市東部会館 株式会社 日野市企業公社 4. 日野市立多摩平交流センター 特定非営利活動法人 市民サポートセンター日野 5. 日野市立万願寺交流センター 特定非営利活動法人 日野子育てパートナーの会 の順番に行う。 <table> <tr> <td>・指定管理者による報告</td><td>10 分</td></tr> <tr> <td>・市民委員からの質疑（指定管理者）</td><td>20 分</td></tr> <tr> <td>・市民委員からの質疑（主管課）</td><td>10 分</td></tr> <tr> <td>・まとめ（点数記入）</td><td>10 分</td></tr> </table>	・指定管理者による報告	10 分	・市民委員からの質疑（指定管理者）	20 分	・市民委員からの質疑（主管課）	10 分	・まとめ（点数記入）	10 分
・指定管理者による報告	10 分								
・市民委員からの質疑（指定管理者）	20 分								
・市民委員からの質疑（主管課）	10 分								
・まとめ（点数記入）	10 分								
議題 5	●委員長、副委員長の選任 委員の互選により、以下のとおり決定した。 委員長 坪島委員 副委員長 吉澤委員 （これより委員長の進行）								
議題 6	●評価基準の決定 事務局より A、B 評価について審査項目の説明を行った。 ・A 評価（基本評価） （1）公の施設について市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されたか。 （2）事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有しているか。 （3）その他 個人情報、環境への配慮がされたか。 ・B 評価（施設事業評価） 施設ごとに特殊性のある項目 ・特に重要な項目については、倍率を掛けている。								

議題 7	●評価 (1)日野市市民農園 ：指定管理者（株式会社 日野市企業公社）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ （質問） 公開抽選について、マンションの方が当選する確率が高いとの風評があるが、いかがか。 （回答） 公開抽選であり、申込した農園以外の方に抽選していただいている。一軒家より、マンションの住人が申込するケースが多いので、当選確率が上がっているのだと思う。 （質問） 資料に「複数申込を防ぐ」とあるが、実際そういう申込はあったのか。 （回答） ある。申込時に住所・氏名・電話番号などの情報を入力し、ソートを掛け重複について確認をしている。重複者は、排除するのではなく、まとめて、一人の申込にしている。 （質問） 資料に「他人の名義を使った利用防止」とあるが、実際、虚偽の申込はあるのか。 （回答） 申込の段階では分からないが、利用者から毎年 1、2 件同じ人が使用しているのではないかと、との問合せをいただく。担当者が現場にて、事実確認を行い、事実であれば、使用の取消しを行う。 （質問） 日野市は、使用料が安いので、値上げしてもいいのではないか。 （回答） 2 年前に値上げをしている。 （質問） 資料に「巡回時に、利用者から声を聞く」とあるが、利用者の耕作している曜日とか時間帯で、多い少ないは、把握しているのか。多くの利用者から意見をもらった方がいいのではないか。 （回答） 多い少ないは曜日に関係無く、天候に左右されるようである。 （質問） 平日の利用者が多いのか。 （回答） 年配者が多いので、平日と休日は関係ないようである。
------	--

	(質問) 曜日を選んで聞取りをする必要は特になく考えて良いのか。 (回答) そのように考えている。 (質問) 資料に「障害者差別解消法を加味した接遇研修」とあるが、具体的にはどんな内容か。 (回答) 昨年 5 月に七生公会堂で、関係する職員 70 名に向け、市よりも先に研修を行ったと認識している。主な内容は、障害者差別解消法が施行され、根拠、差別を解消する措置、対象者、不当な差別とは、合理的な配慮とはどういうことかなどを、資料を基に説明を実施した。出来る範囲のことは行い、そういった心で障害者の方に接するというのがポイントで、当たり前に行えば、この法律はなくてもよくなるのではないかな等の内容の研修を行った。今年も 6 月に研修を行う。 (質問) 市民農園にはあてはまらないのではないかな。 (回答) 例えば、聴覚障害者の方が利用することはあると思うので、認識は必要である。 (意見) 車での来園などを厳しく管理してほしい。 (質問) 指定管理者のホームページに掲載している農園の住所と、市が掲載している住所と違っていたり、地図の場所が違っていたりしている。また、長期に渡り指定管理を行っているが、自前で作付などの講習会を行うことはできないのか。農家へ依頼しなくてもいいのではないかな。 (回答) 市民農園を利用するにあたり、農家から直接指導を受けることは、ひとつの楽しみとなっている。農地の保全として、農家と利用者がコミュニケーションをとることにより、農の学校（援農市民養成講座）へ繋がったりすることもあると思う。 自前で講習会を行うようにすることや、ホームページについては即対応する。 (質問) 区画の境の部分の管理は利用者が個々に管理できているのか。 (回答) 各農園とも管理できている。 (質問) コストを下げる努力で、修繕があげられているが、実際にはどのような修繕があるのか。
--	--

	(回答) 柵やロープの老朽化による修繕・安全管理を行っている。 (質問) 利用者同士のトラブルの対応はあるのか。 (回答) 何件かある。利用者同士の間に入り、注意を促すなどを行った。基本は、トラブルになる前に、区画外に作物が伸びたなどの場合に、指定管理者から連絡を入れる努力をしている。 (質問) 土日の問い合わせの対応はどのようにしているか。 (回答) 土曜日は当番が出勤している。日曜日は留守番電話で対応している。留守番電話に問い合わせが登録されていることはほとんどない。 ＝主な質疑（主管課）＝ (質問) 他市に比べて使用料が安い。再度、使用料の値上げは考えているのか。 (回答) 2 年前に近隣市の平均金額（約 12,000 円／年）に合わせていくため、2,400 円／年から 6,000 円／年に値上げをした。使用料の値上げをしても、応募倍率はあまり変わらなかった。余暇生活の場の提供に公費を費やしていることから、受益者負担の考え方は取り入れていきたい。ただし、金額設定は近隣市に合わせるのか、又は、1 区画当たりの経費 24,000 円まで上げるのかは、検討中である。この 1 年をかけて、値上げするのか、料金設定などの方向性を示したい。主管課としては値上げを考えている。 (質問) 利用者へ維持管理にかかる金額や他市の料金などを丁寧に説明すれば、市民に納得していただけるのではないか。 (回答) 定年退職者が余暇を楽しんでいる場合もあり、値上げについては、維持管理費、他市との料金格差、受益者負担などの説明をしてもなかなか市民に受け入れてもらえない。 (質問) 日野市は、他の施設使用料も特別安い。しかし、市の財政を鑑みれば、時代に合わせ負担していただくことも理解してもらわなければならないか。 (回答) 使用料については、市民農園だけではなく、市全体で考えていかななくてはいけないと思う。 (質問)
--	--

議題 8	市として、体験型農園などを提案するなどしてほしい。 (回答) 市としては、市民農園から民間の体験型農園へシフトしていく方向性ではある。体験農園は開設補助金などあるが、農家自身の耕作や運営が大変であり、なかなか手をあげていただけない。 (質問) 日野市は自然が豊かなので、体験農園をもっと PR して市を活性化してほしい。 (回答) 日野市は、都心部においては農業施策が手厚く、視察も良く来られるので、そういった PR は出来ているのかなと思う。体験農園は、農業収入としては安定するので、是非農家に手をあげてほしい。 ＝まとめ（採点）＝ ●評価 (2)日野市市民会館・七生公会堂・日野市立七生福祉センター ：指定管理者（株式会社 日野市企業公社）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ (質問) 障害者の対応でいくつか資料に記載されているが、それを行ったことで、障害者の利用が増えるなどの変化はあったか。 (回答) 利用者が増えたというよりも、今まで来ていただいた方が安心して利用できるようになった。障害者の方が安心して鑑賞いただけるようになった。 (質問) 七生公会堂は築 40 年経っているが、本当にきれいにできていて良いと思う。日野市市民会館に行くことが多いが、浅川の向こうと浅川のこちら側では PR 方法が違うのか。 (回答) 浅川の北側は日野市市民会館があり、浅川の南側には七生公会堂がある。日野市市民会館は大きな事業で、七生公会堂はかわせみ寄席や映画により活性化し、娯楽や文化を提供できたと思う。 (質問) 日野市市民会館は、高校の卒業式なども行っているが、費用はどうなるのか。 (回答)
-------------	---

無料にはならないが、使用料の延納ができる。

(質問)

七生公会堂が平日に使われるような工夫を何か出来ないか。地域の発表の場などとして考えて使用するなど、利用率を上げてほしい。

(回答)

平成 28 年度で七生公会堂のかわせみ寄席と映画が終わるので、平日の昼間に来ていただけるようなイベントを考えている。音楽や映像を楽しんでいただけるものを準備中である。

(意見)

平日の昼間に使ってもらえるイベントを考えていただきたいと思う。

(質問)

日野市市民会館の利用料金収入が増えている。利用料金収入が増えた分を何かに還元するために、指定管理者独自で何か出来ないか。先を見て、事業の中で還元できるように検討していただけないか。

(回答)

利用料金収入が増えている原因は、他市の会館等が休館していることなどが考えられるが、詳しい理由はわからない。しかし、ある程度の還元は必要だと思う。今回、かわせみ寄席等が終わるが、新しい企画を考えている。音楽を中心とした JAZZ やピアノやフルート、またお寺とのコラボ企画などを行うので、期待していただきたい。

(質問)

苦情に関して、皆が共有できるように記録が残っているか。

(回答)

各施設の日誌記録に残っている。

(質問)

事業報告書の収支状況にある旅費の 1,000 円とは何か。

(回答)

公益財団法人全国公立文化施設協会の会議があった場合に、出張するためのものである。毎年あるわけではないが、科目がないと支払いができないので科目存置のため、最低の金額を載せている。

(質問)

文化スポーツ課のチラシについて、赤レンガプロジェクトのお知らせなど発行する際に、指定管理者は文化スポーツ課や赤レンガプロジェクトの意見を聞いているのか。

(回答)

指定管理者は仕様書と提案書に基づいて行っているので、文化スポーツ課や赤レンガプロジェクトとの調整はしていない。指定管理者としての事業については、チラシを作成して

いる。今月のショッパーに、記事が出ているので参考にしてほしい。

（質問）

日野市立七生福祉センターについては、部屋ごとの利用率を出してほしい。コマ（部屋）が 3 つあれば、各コマ（部屋）がフルに稼働するようにしてほしい。

（回答）

日野市立七生福祉センターは利用が多いので、2 団体で時間やスペースを区切ってシェアして使うなどをしている。

（質問）

日野市市民会館の会議室など利用率は多いのか。現地視察に行った際は、全部使用されていた。

（回答）

会議室に関しては、それほど利用率は高くはない。大きな団体が大ホールを使用した時などに控室などに使用している場合があり、全て使用されている場合がある。

（質問）

会議室の利用方法はどんな利用が多いのか。

（回答）

申請の内容からすると、会議や打合せが多いと思う。

（質問）

修繕の項目が多いが、現場から見て、現在の日野市市民会館は予算以上の修繕が必要か。

（回答）

音響等の施設の大規模修繕を行っていないため、老朽化が進んでおり、必要だと思う。

＝主な質疑（主管課）＝

（質問）

光熱費が安くなっているが理由は何か。

（回答）

電力の競争入札を導入した関係で、安くなっている。日野市市民会館の電気料金は、本庁舎と一本で請求されているため、分けられないので、記入されていない。七生公会堂については、電力の競争入札を導入している。水道に関しては、中水（汚水の再利用）を行っていたが、平成 29 年度に上水道に切替えたので、水道料金は上がる。

（質問）

赤レンガプロジェクトの LiveCafe の料金は安いのではないか。今の時代にあった料金に値上げしてもいいと思う。

（回答）

指定管理者の事業とは別に、日野市市民会館の活性化のため、市民委員を集い、赤レンガ

プロジェクトを立ち上げた。市民会館文化事業協会の委託事業として、年間約 300 万円の予算で、8 企画ぐらいを行っている。収入は年間約 120 万円である。入場料の設定は、市民委員にお任せしている。目的としては、広く市民に気兼ねなく利用できる料金と考えている。市民に還元して、一人でも多くの人に来てくれることを期待している。ご意見があったことは、赤レンガプロジェクトの委員に伝える。事業のバランスを見ながら、進めさせていただく。

（質問）

演目によって、すぐに売れてしまうものもあるが、その辺の分析はどのように行っているか。

（回答）

イベントによっては申込の翌日に売れるものもある。様々な事業に取り組んでおり、新しいものなどは満席にならない場合もある。広くバランスよく事業が行えるように、検討しながら市民委員の意見も取り入れて、事業を計画していきたいと思う。また、様々な意見を検討しながら運営していく。

（意見）

LiveCafe については、他市から来た人などは本当に感動している。お料理なども手の込んだものが多く、とても満足のいくものなので、継続してもらいたいと思う。また、料金についても検討できればお願いしたい。

（質問）

利用料金収入が増加しているので、修繕などに還元してほしいと、市の方から指定管理者に指導できないのか。

（回答）

市としてお願いできるものはしている。せっかくの市民会館なので、賑わいのある人が集まる施設にしていきたいという思いがある。また、設備が壊れたものなど 100 万円以下のものは指定管理者で、それ以上は主管課でという区別は整理している。

（質問）

収支の関係の質問だが、日野市市民会館や七生公会堂の自動販売機の売り上げはどうなっているのか。

（回答）

指定管理者の売り上げではなく、日野市社会福祉協議会という福祉団体に特別に許可を出して販売をしているものである。市役所の自動販売機もそうだが、日野市社会福祉協議会の収入になっている。

（質問）

AED（自動体外式除細動器）が施設においてあるが、実際に使用したことはあるのか。

（回答）

	実際に使用した実績はない。いざという場合に必要なものとして設置することが必要である。 =まとめ（採点）= ～第1回日野市指定管理者市民評価委員会終了～
--	--